

文化・芸術・スポーツの分野での活躍に対する各賞  
受賞おめでとうキャンペーン

令和4年度の羽幌町文化賞体育賞、青少年文化賞スポーツ賞の受賞者が決定しました。羽幌町文化協会の受賞者とあわせてその功績を紹介します。  
なお、顕彰式につきましては、3月17日、中央公民館において町と協会の共催で行われました。

※学校名・学年は表彰時のものです

羽幌町文化賞体育賞

文化奨励賞

たての かずはる  
立野 和治 さん



蕎麦さろん東庵入会後の平成9年から役員として会の運営に携わり、平成25年から会長を務めています。北海道そば研究会に加入して技術研鑽に励み、町民芸術祭におけるバザーや新そば時期の特老施設訪問、各種団体からの講座依頼事業にも積極的に取り組みながら、会員の指導育成はもとより常に親睦を活動の要に会発展の牽引力として職責を果たしました。また、平成30年の会結成20年記念誌「そば打ち20年のあゆみ」を発行し活動の足跡を記すなど、本町の文化の進展にも貢献されました。

羽幌町青少年文化賞スポーツ賞

文化賞

みちなか あいか  
道中 藍加 さん  
(羽幌高等学校2年)



羽幌高等学校美術部に所属し、12月に第34回読書感想画中央コンクール(全国学校図書館協議会、毎日新聞社他)に出品し、優秀賞(2位相当)を受賞しました。

文化奨励賞

たしかわ とし  
瀧川 光輝 さん  
(羽幌中学校3年)



2022年度海の子作品展にて、最高賞に次ぐ優秀賞(農林中央金庫札幌支店長賞)を受賞し、第45回全国海の子絵画展へ推薦、出品されました。

文化奨励賞

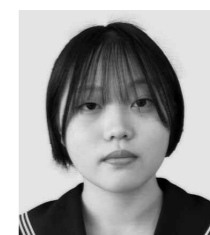
羽幌高等学校シーバードフレンドリープロジェクトチーム



ますだ ことろう  
益田 琥汰朗 さん



えんどう こはく  
遠藤 琥珀 さん



かねこ ゆり  
金子 由莉 さん

「総合的な探究の時間」の活動で、羽幌シーバードフレンドリー推進協議会と連携し、羽幌町内の海鳥の生息環境について学び、探究成果を第8回全国ユース環境活動発表大会(主催:環境省、環境再生保全機構、国連大学サステナビリティ高等研究所)北海道地方大会において特別賞を受賞し、北海道代表として出場しました。



やまひら けんご  
山平 堅吾 さん



いしだ まりん  
石下 真鈴 さん



はちや りゅうと  
八谷 隆斗 さん

スポーツ奨励賞

おがさわら ゆうせい  
小笠原 悠星 さん  
(羽幌小学校6年)



第19回西日本選抜学童軟式野球倉敷大会において北海道選抜選手として選出され、試合では外野手として活躍し、チームのベスト8進出に貢献されました。

スポーツ奨励賞

はちろ しゅんすけ  
鉢呂 駿典 さん  
(羽幌中学校1年)



令和4年度北海道中学校体育大会第50回北海道中学校柔道大会男子個人戦73kg級に留萌管内代表として出場し、準優勝を収めました。

羽幌町文化協会賞

功労賞

さいとう てるお  
齊藤 照男 さん



平成13年より令和元年度まで羽幌町こきりこ唄保存会会員とともに羽幌小学校の児童へ唄や楽器演奏、踊りの指導を行い、学芸会において児童がこきりこ唄の演奏と踊りを披露するなど、後継者育成に尽力されました。現在も保存会の会長として、羽幌町の郷土芸能である「こきりこ唄」の継承・保存に尽力されています。

功労賞

くまがい しほ  
熊谷 志保 さん



子供のころから加賀獅子保存会が参加する神社祭や町のイベントなどに参加され、現在も保存会の青年部に夫婦で所属され、参加する子供たちの指導をはじめ、保存会の存続のために長きに亘り会発展の牽引力として尽力されています。平成23年からは保存会婦人部長としても職責を果たすとともに後輩への指導に精励されています。

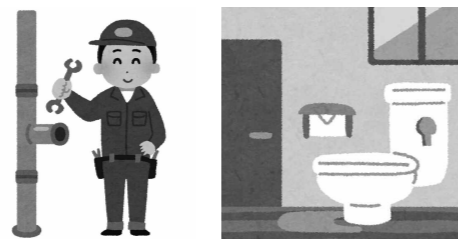
上下水道課からのお知らせ

水洗便所改造等資金あっせん制度

金融機関から工事資金の貸付を受けられる制度で、利子の2分の1を町が負担します。

工事内容	貸付限度額
汲取り便所改造、排水設備接続	800,000円
し尿浄化槽撤去、排水設備接続	300,000円

・貸付は、取扱金融機関の審査等によって決定します。



下水道使用料の減免制度

- ・本人からの申請が必要です。
- ・世帯全員が道町民税非課税の場合、その世帯の下水道基本料金の30%が減免になります。(世帯を分けている場合でも全員が道町民税非課税でなければ対象になりません)
- ・生活保護法による生活扶助を受けている方は対象になりません。

📍 お問合せ 上下水道課管理係 ☎68-7006 (課直通)